

高浜発電所 1 号機 C 加圧器安全弁の出口温度上昇に伴う監視強化の状況

2026 年 10 月 21 日
関西電力株式会社

高浜発電所 1 号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力 82.6 万キロワット）は定格熱出力一定運転中のところ、2026 年 10 月 2 日から加圧器安全弁※ 3 台のうち、C 加圧器安全弁の出口温度（以下、当該温度）が通常範囲（～約 50℃程度）を超えて上昇する傾向を示していることを確認したため、関連パラメータの監視強化を行っています。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありません。

（[2026 年 10 月 3 日](#)お知らせ済み）

10 月 5 日以降、当該温度は通常範囲（～約 50℃程度）内で推移していましたが、10 月 20 日 15 時 00 分から上昇し、10 月 21 日 14 時 00 分時点で約 66℃となりました。その後、約 66℃前後で推移しています。

その他のプラントパラメータに異常はありません。

引き続き監視強化を行ってまいります。

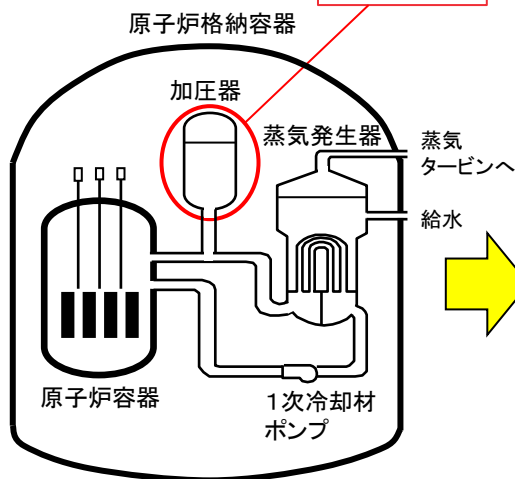
※：加圧器と加圧器逃がしタンクとの間に設置され、加圧器圧力（通常値約 15.4 MPa）が高くなった時に、自動的に開放し加圧器逃がしタンクに圧力を逃がす弁。
加圧器圧力が約 16.1 MPa 以上になった時に開放する「加圧器逃がし弁」2 台と、そのバックアップとして、約 17.2 MPa 以上になった時に開放する「A 加圧器安全弁」1 台および約 17.3 MPa 以上になった時に開放する「B および C 加圧器安全弁」2 台の計 3 台がある。

以 上

高浜発電所1号機 C加圧器安全弁の出口温度上昇に伴う監視強化の状況

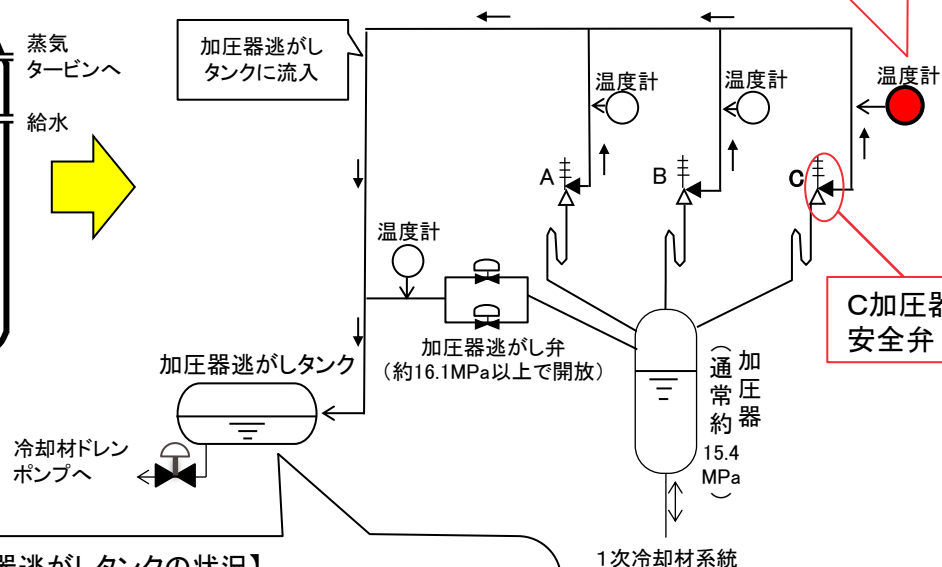
発生場所

発生場所



【温度変化状況】

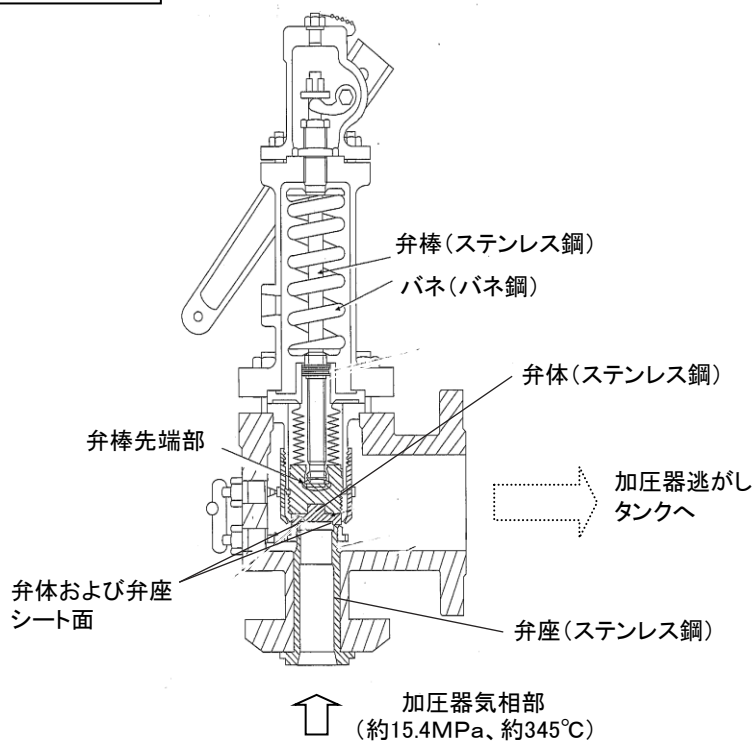
10月5日以降、通常範囲（～約50℃程度）内で推移。
10月20日から加圧器安全弁の出口温度が上昇し、
現在約66℃前後で推移。



【加圧器逃がしタンクの状況】

	発生時 (10/3)	現状 (10/21)
水位	約73%	約75%
圧力	約29kPa	約34kPa
温度	約31℃	約29℃

加圧器安全弁構造図



[加圧器安全弁仕様]

口径: 約132mm
吹出圧力設定値: 約17.3MPa